

## 処 分 基 準

令和4年3月15日作成

|  |
|--|
| 法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法  |
| 根 拠 条 項：第9条の3の2第2項   |
| 処 分 の 概 要：クロスボウ射撃指導員の指定の解除   |
| 原権者（委任先）：長崎県公安委員会  |
| 法 令 の 定 め：<br>銃砲刀剣類所持等取締法第9条の3の2第1項（クロスボウ射撃指導員）・第2項<br>銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条の2（クロスボウ射撃指導員の基準）  |
| 処 分 基 準：<br>銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条の2各号について、その適合性の有無を判断し、いずれかの項目に不適合と判明すれば、指定を解除する。<br>なお、同規則に定めるクロスボウ射撃指導員の指定の基準中<br>(1) 「クロスボウに関する法令」とは、銃砲刀剣類所持等取締法、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律等の法律、これらに基づく命令及びこれらに基づく行政庁の処分を指す。<br>(2) 「相当な人格識見」とは、クロスボウの射撃に関するものにとどまらず、社会生活全般におけるそれを指す。<br>(3) 「相当な知識」、「相当に習熟」とは、一般的な知識、技能にとどまらず、指導の相手方の個別具体的事案に即して指導可能な程度に知識、技能を有するという趣旨である。<br>これらは、指定時の水準を基準として判断するのではなく、解除の判断を行う時点での水準を基準として判断する。 |
| 問 い 合 わ せ 先：警察本部生活安全部生活安全企画課許可業務指導室保安係（電話095-820-0110 内線3177・3178）又は住所地を管轄する警察署の生活安全課若しくは刑事生活安全課   |
| 備 考：   |